

学校教育目標	○ よく考える子 ○ けんこうな子 ○ すすんで働く子 ◎ 思いやりのある子	教育ビジョン	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校	学校像	児童像	教師像
			【目指す児童像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供			
			【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に臆することなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師			
前年度までの学校経営上の成果と課題		令和4年度評価報告書	<成果>経営方針が明確で、常に情報発信しており、高い信頼感につながっている。子供たちがコグトレを楽しみにして、集中力や対人スキルが向上している。伸び伸びと笑顔で過ごす児童が多いと感じる。感染症対策がとても安心、信頼できる。 <課題>どうゆう人材を育てようとしているのか共有と実践を期待する。コロナ禍だからこそ一層の連携が重要であり、児童同士の教え合う機会も更に増やしてもよい。校庭で遊んでいる子が少なく感じる。SOSの出し方は難しく、周りが気付くことが大切。				

教育委員会基本方針	No.	学校経営方針(教育課程)		学校経営目標(具体的な施策)		評価指標・評価基準		自己評価			学校関係者評価		評価結果を踏まえた 次年度の改善策
				中期経営目標 (25の目標)	短期経営目標 (50の施策)	取組指標 数値無しは100%を示す	成果指標 数値無しは100%を示す	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	校長が精度の高い地図と羅針盤をもって明確な経営方針を示し、全職員が経営参画できる同僚性と協働性を高める。	職責に付加価値を付け協働して遂行する組織を構築する。	学校経営方針を全職員で共有 全職員が役割・目標を遂行	各自の自己申告書に明記 プロジェクト方式で遂行	25の目標…9割実行 50の施策…9割達成						
	2	安全管理危機管理	安全を全てに優先させ、危険予知・未然防止、安全管理・危機管理を徹底し、安全で安心な学校生活を保障する。	常に最悪の状態を想定して未然防止、初期対応を期す。	防災・危機対応マニュアルの周知徹底 児童の危機管理能力の向上	教室内鍵等の危険回避措置 児童・保護者への指導・啓発	看護当番の徹底…100% 重大事故発生…0件						
	3	学校公開情報発信	学校行事や学校公開日などの機会を多く設けるとともに、学校方針や活動状況など、有用な情報を積極的に伝える。	内容・方法・形態等を工夫して多彩に公開・発信する。	学校HPや校長通信等の充実 オンラインやデジタル化の推進	校長の通信発行…年24回 学校HP…毎日更新	参観…年間1,000人 アクセス数…1日100回						
	4	カリキュラムマネジメント	教科横断的に各教科等の教育内容を相互に関連付け、配列し、6年間を見通した教育課程全体を往還させる。	育てたい子供像を明確にし、教育課程全体を関連付ける。	教科等に関連付けた指導計画 総合的な学習の時間の改革	探究6年間の指導計画策定 探究発表会実施…全学年	年間指導計画実施…9割 発表会で達成感…9割						
	5	共にある教育の実現	積極的に学校公開・情報発信を行うとともに、アンケートや個人面談、学校評価を有効に活用し、教育活動を改善する。	未来の守護者を育てる教育課程を地域とともに作る。	きめ細やかな意思疎通の推進 評価結果を踏まえた教育課程	行事毎のアンケートメール 改善案の立案…年末	保護者回答率…100% 肯定的評価…9割						
	6	教員の人材育成研修の充実	全ての教育を通して、ICT活用、言語活動、探究学習を展開し、児童の納得解を導く力を高められる教員を育成する。	新たな解を創造する児童を育成する授業力を向上させる。	課題設定を明確にした授業改善 OJTミニ研修による授業力の向上	年6回の授業観察…全教員 授業観察の事前・事後指導	保護者回答…9割 肯定的評価…9割						
	7	働き方改革の徹底	全職員が、働き方改革の意義を理解し、野球型からサッカー型の職務行動へと変革し、個が自律した組織とする。	働き方改革推進プランを策定し、教育の質を向上させる。	残業時間毎月30時間以内 電子化による校務の効率化	月金5時間・水4時間授業 欠席連絡・通知文等の電子化	残業30時間以内…全教員 週1回定時退勤…全教員						
	8	ワンチームでビジョンを共有	通常級、専科、さくら学級、きこえとことば、大空教室、事務職員等、すべてが同一のビジョンを共有する組織とする。	内に開かれた教育を実現し、ワンチームで運営する。	教員同士の意識改革…一枚岩 児童同士の垣根を取り除く	職員室の一体化・座席配置 教員の交流授業…全教員	教育目標共有…全教員 各自の目標達成…9割						
確かな学力の定着	9	学習習慣・学習規律の定着	自ら学びを生かそうとする主体的に学びに向かう力を涵養するとともに、学習習慣を確立する。	「学びのすすめ」「自主学習ノート」「寺子屋」の推進。	授業・補習と家庭学習の一体化 自ら学びに向かう姿勢の涵養	寺子屋充実…9割実施 自主学習ノート…週1回	寺子屋の満足感…8割 学年×10分の達成…8割						
	10	基礎・基本的な学力の定着	実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。	学力の把握・検証に基づき授業改善を推進する。	指導と評価の一体化の推進 探究学習発表授業で表現力	授業改善推進プラン改善 習熟度別学習の拡大充実	診断シート…5割以上 授業が分かる…8割						
	11	新たな価値を創造する力	創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導き、新たな価値を創造することができる資質能力を育成する。	他者と協働し学び合い、学ぶ楽しさ、学びに向かう姿勢の向上	探究ノートの効果的な活用 自ら考え判断し表現する学習	探究ノートの活用・充実 課題解決学習…全教科	主体的に課題解決…8割 意欲的に課題解決…8割						
	12	外部人材ICT活用	各教科等で外部人材やICTを効果的に活用し、児童の興味・関心を高め、自ら学ぶ力や学び合い教え合う力を付ける。	授業そのものを改革することにより学力を向上させる。	外部人材を有効活用した授業 授業でICTを効果的に活用	外部人材を活用した授業 タブレットを活用した授業	授業が楽しい…8割 ICT活用に満足…8割						
	13	ユニバーサル・デザイン	ユニバーサル・デザインによる分かりやすい授業、やさしい授業、個に応じた指導の工夫に努め、適切な支援を行う。	児童にやさしい教室環境、学習環境、授業を実現。	児童にやさしい教室環境整備 児童にやさしい授業を实践	すっきりした教室環境 分かりやすい授業展開	教室の居心地…8割 授業の満足感…8割						
豊かな心の醸成	14	自己有用感の醸成	一人一人の個性を生かし、相互の信頼関係を深める中で、自己の存在価値の認識等、自己有用感を高める。	自己有用感を高め、児童が個々のよさを発揮できる。	QIを踏まえた特別活動の充実 異年齢集団の活動の推進	学級会・異学年交流の充実 人権週間・人権集会の充実	社会通念上いじめ…0件 自己有用感が向上…8割						
	15	認知機能・社会性の向上	コグトレ等で認知機能を高め、感情統制、対人スキルを養い、自他共に敬意をもって関係する力を付ける。	コグトレで自他ともに大切にできる豊かな心情を育成する。	認知機能や感情統制の支援 やりぬく力、辛抱する力の育成	自己有用感を図る特別活動 意図的計画的なコグトレ	認知機能等が向上…8割 他者との関係が向上…8割						
	16	内面に根ざした道徳性の涵養	人権尊重の精神を基調に、自他を大切に、共によりよく生きるために、児童の内面に根ざした道徳性を育成する。	問題解決的あるいは体験を通じた発問構成の工夫。	広い視野で考え議論する道徳 内面に根ざした道徳性の涵養	考え議論する道徳…9割 命の授業の実施…全学年	自分事として考え議論…8割 自分事として振り返り…8割						
	17	心の居場所づくり	一人一人の居場所づくりや心に寄り添う相談など、不登校等、一人で悩みを抱えない相談体制を構築する。	様々な人と関わりをもち、悩みを話せるようにする。	全職員による個の支援・相談 SOSを出せる雰囲気醸成	共同担任制の充実強化 SOSカードの効果的な活用	大人に相談できる…9割 学級満足度…9割						
健やかな体の育成	18	新しい生活様式の定着	手洗いの徹底、TPOに応じたマスクの着脱など、感染状況を踏まえた新しい生活様式の行動ができる。	全ての教育活動を通して全職員が健康管理に携わる。	新しい生活様式の定着 熱中症防止やアレルギー対応	学びのすすめの活用 熱中症等防止の徹底	1日の病欠…3人以下 学級閉鎖実施…0件						
	19	体力・運動能力の向上	基礎的な体力の向上と運動習慣、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。	体力調査結果を検証・活用し、体育授業を改善する。	元気アップタイムの拡大充実 新しい上履きの推奨・足音推進	元気アップタイムの拡大 体育の授業の工夫改善	外遊び…週1回90% 運動が楽しい…8割						
	20	ストレスに対処できる力	心と体の関連性を理解し、様々な欲求やストレス等に対し、適切に対処できる力を育てる。	学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的に取り組む。	多様な対処方法を学ぶ機会の提供 家庭と連携した情報モラル教育	学級以外の児童支援 自殺防止授業の実施	大人に相談できる…9割 不登校傾向…3%未満						
	21	健康管理保健衛生	すべての子供たちが「一人にひとつの命」を自覚し、かけがえない命を自ら守ろうとする意識と行動力を育成する。	健康教育・食育推進計画を改善、充実、徹底させる。	グッドモーニング60分の定着 食育の計画的な推進・充実	グッドモーニング…3回 お弁当の日の課題設定	グッドモーニング…8割 お弁当課題遂行…8割						
輝く未来に向かって	22	言語力の向上	学校図書館の機能の充実を図り、言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力を育成する。	学校図書館活用を中心に、言語活動を充実させる。	学校図書館活用の推進 短作文・読書感想文の指導充実	図書館活用授業…全学級 書くことの指導…全学級	言語力向上…8割 短作文・読書が好き…9割						
	23	情報活用力の向上	1人1台端末やオンライン活用を含め、情報活用力を育成するとともに、新たな解を創造する力を醸成する。	見方・考え方を働かせながら思索する場の充実。	1人1台タブレットの効果的な活用 プログラミング教育の推進	教育の情報化…全学級 プログラミング…全学級	情報活用力向上…8割 論理的思考力向上…8割						
	24	国際社会で活躍できる人材	日本人としての目覚と誇りを持ち、自ら学び行動できる国際感覚を備え、多様性を尊重し、共生・共助社会の実現を目指す。	家庭や地域と連携協働した自己実現への手立ての充実。	思索コンテスト指導充実 調べる学習コンクール指導充実	思索コン指導…全学級 調べるコン指導…全学級	自分事として思索…8割 主体的に探究活動…8割						
	25	特別支援教育の推進	校内外の垣根を外し、障害のある児童の自立や社会参加に向けた視点に立った指導及び支援、合理的配慮に努める。	校内委員会を中心に共通理解の元、一人を全員で支援。	特支リーフレットによる啓蒙 SSWと連携した校内委員会の充実	リーフレット改定…当初 校内委員会…月2回	特別支援教育の理解…8割 垣根のない学校の実現…8割						